

「平成25年度 病虫害発生予報第6号」の発表について

向こう 1 か月の主要な病虫害の発生予察情報については、次のとおりです。

- ・ 水稻では、いもち病と斑点米カメムシ類の発生が多くなると予想されます。発生状況に応じて、いもち病は穂ばらみ期と穂揃い期、斑点米カメムシ類は穂揃い期とその 7～10 日後に薬剤防除を実施してください。
- ・ 野菜では、タバコガ類の発生が多くなると予想されます。ほ場の観察をきめ細かく行い早期発見に努め、発生を認めた場合は適期に防除を実施してください。
- ・ 果樹では、ハダニ類の発生が多くなると予想されます。園内の観察をきめ細かく行い、発生状況に応じて適期に防除を実施してください。

病虫害防除に関する留意点

- ・ 病虫害防除を効果的に実施するためには、病虫害の発生状況を的確に把握し、適期の防除につなげることが大切です。病虫害の発生は天候の影響を大きく受けるので、天候の状況に注意しつつ、都道府県が発表する発生予察情報に基づき、地域ごとの防除基準に従って防除を実施してください。
- ・ 薬剤防除を実施する場合には、適切な薬剤を選択するとともに、病虫害が薬剤抵抗性を獲得しないように、同一系統薬剤の連続使用を避けてください。

また、農薬の使用基準を遵守し、散布対象外の農作物等に農薬が飛散しないよう対策を講じてください。このことについては、農林水産省が、6 月から 8 月にかけて、厚生労働省、環境省等と共同で実施する「農薬危害防止運動」においても注意を呼びかけています。

(参考) 平成 25 年 5 月 10 日付けプレスリリース「農薬危害防止運動」の実施について

<http://www.maff.go.jp/j/press/syouan/nouyaku/130510.html>

水稻

- ・ **葉いもち病**の発生は、南九州の一部地域で「多い」、甲信の一部地域で「やや多い」、**穂いもち**の発生は、近畿の一部地域で「多い」、東北の一部地域で「多い」又は「やや多い」、甲信及び中国の一部地域で「やや多い」と予想されます。葉いもちの発生が多く上位葉に葉いもちの病斑がみられる場合は、穂いもちの発生が懸念されるので、穂ばらみ期と穂揃い期に薬剤防除を実施してください。なお、穂いもちの多発生が予想される場合には、穂揃い期 7～10 日後の追加防除を実施してください。

- ・ **紋枯病**の発生は、北東北の一部地域で「多い」又は「やや多い」、東海の一部地域で「やや多い」と予想されます。
前年に本病が多発した地域においては、本年も多発する可能性があるので注意が必要です。本病は病勢が少しずつ進展することから、発生がある程度認められてからでも防除を行うことが可能です。
- ・ **斑点米カメムシ類**の発生は、甲信、北陸の一部地域で「多い」、東北、関東、東海、近畿及び中国の一部地域で「多い」又は「やや多い」、北海道、四国及び南九州の一部地域で「やや多い」と予想されます。
本害虫の防除は、生息地となる休耕田、畦畔及び水田周辺の雑草を管理し、密度を低減させることが基本です。薬剤防除は、一般的に穂揃期とその7～10日後の実施が適期ですが、防除時期は本害虫の種類構成によって異なるので、都道府県から発表される発生予察情報で防除適期を確認し、防除を実施してください。
- ・ **トビイロウンカ**の発生は、南関東、中国及び九州の一部地域で「多い」、近畿及び四国の一部地域で「やや多い」と予想されます。
本害虫は水田に侵入後、急激な密度上昇により坪枯れ等の被害を起こします。水田内を注意深く観察し、水稻の株元に成虫や幼虫を確認した場合は、都道府県から発表される発生予察情報で防除適期を確認し、防除を実施してください。
なお、近年特定の薬剤に対する感受性が低下した個体が確認されているので、都道府県から発表される発生予察情報を参考に、適切な薬剤を選択してください。
- ・ **コブノメイガ**の発生は、北東北及び北陸の一部地域で「多い」と予想されます。
本害虫の水田での発生状況を把握するとともに、都道府県から発表される飛来情報を参考に若齢幼虫期をとらえた防除を実施してください。
- ・ **フタオビコヤガ**の発生は、東北の一部地域で「多い」又は「やや多い」、東海の一部地域で「やや多い」と予想されます。
水田の観察を行い幼虫の早期発見に努めるとともに、発生状況に応じて適期に防除を実施してください。

大豆

- ・ **吸実性カメムシ類**の発生は、北東北の一部地域で「多い」と予想されます。
ほ場の観察をきめ細かく行い、発生状況に応じて適期に防除を実施してください。
- ・ **ハスモンヨトウ**の発生は、「平年並」と予想されます。
ほ場の観察をきめ細かく行い、本害虫による加害の特徴である白変葉の早期発見に努め、適期に防除を実施してください。

野菜・花き

露地栽培

- ・ 1 か月予報（8月9日気象庁発表）では、沖縄・奄美を除く地域で晴れの日が多く、全国的に気温が高くなると予想されています。気温の上昇に伴い害虫の動きも活発になるので、ほ場観察を行い害虫の早期発見に努め、発生を認めた場合は適期に防除を実施してください。

施設栽培

- ・ 気温上昇に伴い、栽培管理上施設を開放する機会が増えるので、病害虫の施設への侵入及び野外への飛び出しに注意が必要です。
施設内が過湿になると病害の発生が助長されるので、施設周辺に排水路を整備して、雨水が施設内に入らないように留意するとともに、作物の株間の通風を図る等、施設内が過湿にならないように管理してください。また、病害の早期発見に努め、伝染源となる罹病葉や罹病果は除去し、適期に薬剤防除を実施してください。
- ・ ウイルス病を媒介するアザミウマ類、コナジラミ類等の侵入又は野外への飛び出しを防止するため、施設の開口部に防虫ネット等を設置するなどの対策を実施してください。また、雑草はこれらの害虫の発生源となりますので、施設内及び周辺の定期的な除草に努めてください。
- ・ 栽培終了後は蒸し込み処理等を行い、作物残渣での生存虫を死滅させてから搬出し、土中に埋める等確実に処分してください。

発生が「多い」・「やや多い」と予想される病害虫及び地域（露地・施設栽培）

作物名	病害虫	発生が「多い」地域	発生が「やや多い」地域
キャベツ	コナガ		北東北、南九州
ねぎ	べと病	南東北	
	アザミウマ類	関東	北東北、東海、北九州
きゅうり	褐斑病		東北
	炭そ病	北東北	四国
	べと病	南東北	
	アブラムシ類		北東北、甲信、北陸
トマト	灰色かび病	北東北、四国	
	アザミウマ類	北陸	甲信
	アブラムシ類		甲信、北陸
	タバコガ類	関東	甲信、近畿

なす	アザミウマ類		南関東、四国
	タバコガ類	関東	近畿、四国
	ハダニ類		南関東、近畿
きく	白さび病	南東北	
	アザミウマ類	北関東、東海	四国、南九州
	ハダニ類	北関東	近畿、南九州

注) 表中の地域については、その地域全域で発生がみられるものではありません。

- ・ **タバコガ類**は、果実に食入してからでは防除が困難となるため、ほ場の観察をきめ細かく行い早期発見に努め、発生を認めた場合は適期に防除を実施してください。

果樹・茶

果樹共通

- ・ **果樹カメムシ類**の発生は、南九州の一部地域で「やや多い」と予想され、その他の地域では「平年並」以下と予想されます。

本害虫は、生息場所である山林等から飛来してくるので、例年、カメムシ類の被害が多い園地や山林に隣接した園地では、園内の観察をきめ細かく行ってください。また、飛来が認められた場合は、飛来初期から防除を実施してください。

発生が「多い」・「やや多い」と予想される病虫害及び地域

作物名	病虫害	発生が「多い」地域	発生が「やや多い」地域
かき	うどんこ病		東海、近畿
	フジコナカイガラムシ	北九州	東海、四国
かんきつ	ミカンハダニ		東海、中国、九州
なし	黒星病		北東北、甲信、東海、近畿
	ハダニ類	東海、南九州	北東北、近畿
もも	ハダニ類		甲信
りんご	ハダニ類		北東北、甲信
茶	輪斑病		東海、南九州
	チャノキイロアザミウマ		東海、近畿
	チャノコカクモンハマキ		南関東、東海、近畿、北九州
	チャノミドリヒメヨコバイ		南関東、東海、近畿、九州

注) 表中の地域については、その地域全域で発生がみられるものではありません。

かんきつ

- ・ **ハダニ類**は、夏季に増殖するカブリダニ類等有用な土着天敵により、密度が下がりますが、気温が高く雨が非常に少ない天候が長く続いた場合は、本害虫の発生が助長されますので、園内の観察をきめ細かく行い、発生状況に応じて適期に防除を実施してください。

なし

- ・ **黒星病**は、伝染源となる発病葉及び発病枝を除去して、園外の土中に埋める等適切に処分してください。また、本病は降雨が続くと発生が助長されるので、天候の推移に注意し、適期に薬剤防除を実施してください。

茶

- ・ **チャノコカクモンハマキ**は、成虫発生最盛日の7～10日後が防除適期になります。都道府県が発表する地域の予察灯やフェロモントラップでの誘殺状況を参考に、防除を実施してください。
- ・ **チャノミドリヒメヨコバイ**は、夏季に連続して発生します。新芽の生育状況と本害虫の発生状況をよく見極め、同一系統の薬剤の連続使用を避けた上で、防除を実施してください。

都道府県が発表した警報、注意報及び特殊報

平成25年7月6日以降、都道府県が発表している警報、注意報及び特殊報は以下のとおりです。

警報

重要な病害虫が大発生することが予測され、かつ、早急に防除措置を講ずる必要がある場合に発表します。

発表月日	都道府県名	対象作物名	対象病害虫名
8月8日	秋田県	水稲	斑点米カメムシ類

注意報

警報を発表するほどではないが、重要な病害虫が多発することが予測され、かつ、早めに防除措置を講じる必要がある場合に発表します。

発表月日	都道府県名	対象作物名	対象病害虫名
7月10日	千葉県	水稲	斑点米カメムシ類
7月10日	福井県	水稲	斑点米カメムシ類
7月11日	秋田県	水稲	斑点米カメムシ類
7月12日	北海道	水稲	いもち病

7月12日	石川県	水稲	斑点米カメムシ類
7月16日	新潟県	水稲	斑点米カメムシ類
7月16日	山口県	水稲	斑点米カメムシ類
7月17日	三重県	水稲	斑点米カメムシ類
7月18日	岐阜県	水稲	斑点米カメムシ類
7月19日	栃木県	水稲	斑点米カメムシ類
7月19日	埼玉県	水稲	斑点米カメムシ類
7月19日	岡山県	水稲	斑点米カメムシ類
7月25日	山形県	水稲	斑点米カメムシ類
7月25日	宮崎県	水稲	いもち病
7月26日	岩手県	水稲	いもち病（穂いもち）
7月29日	宮城県	水稲	いもち病（穂いもち）
7月29日	兵庫県	水稲	いもち病（穂いもち）
7月30日	青森県	水稲	いもち病（穂いもち）
7月30日	茨城県	水稲	斑点米カメムシ類
7月30日	長野県	水稲	いもち病
7月30日	鳥取県	水稲	いもち病（穂いもち）
7月30日	鳥取県	水稲	斑点米カメムシ類
7月31日	宮城県	水稲	斑点米カメムシ類
7月31日	山形県	水稲	いもち病（穂いもち）
7月31日	福島県	水稲	いもち病（穂いもち）
8月1日	秋田県	水稲	紋枯病
8月1日	福岡県	水稲	トビイロウンカ
8月2日	北海道	水稲	アカヒゲホソミドリカスミカメ
8月2日	静岡県	水稲	斑点米カメムシ類
8月2日	宮崎県	水稲	トビイロウンカ
8月5日	山梨県	樹木類	アメリカシロヒトリ
8月6日	熊本県	水稲	トビイロウンカ
8月7日	長野県	水稲	斑点米カメムシ類
8月8日	京都府	水稲	いもち病（穂いもち）
8月8日	鹿児島県	水稲	トビイロウンカ

8月9日	千葉県	水稲	トビイロウンカ
8月9日	広島県	水稲	トビイロウンカ

■ 特殊報

新たな病害虫を発見した場合及び重要な病害虫の発消長に特異な現象が認められた場合に発表します。

発表月日	都道府県名	対象作物名	対象病害虫名
7月10日	千葉県	トマト	黄化病
7月29日	高知県	きく	茎えそ病
7月31日	和歌山県	きく	茎えそ病

■ 用語解説

■ 地域

- ・ 北海道：北海道
- ・ 東北：青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
北東北：青森県、岩手県、秋田県
南東北：宮城県、山形県、福島県
- ・ 関東：茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
北関東：茨城県、栃木県、群馬県
南関東：埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
- ・ 甲信：山梨県、長野県
- ・ 北陸：新潟県、富山県、石川県、福井県
- ・ 東海：岐阜県、静岡県、愛知県、三重県
- ・ 近畿：滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
- ・ 中国：鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
- ・ 四国：徳島県、香川県、愛媛県、高知県
- ・ 九州：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県
北九州：福岡県、佐賀県、長崎県、大分県
南九州：熊本県、宮崎県、鹿児島県
- ・ 沖縄：沖縄県

■ 発生量（程度）

- ・ 多い（高い）：やや多いの外側10%の度数の入る幅
- ・ やや多い（やや高い）：平年並の外側20%の度数の入る幅
- ・ 平年並：平年値を中心として40%の度数の入る幅
- ・ やや少ない（やや低い）：平年並の外側20%の度数の入る幅
- ・ 少ない（低い）：やや少ないの外側10%の度数の入る幅
（平年値は過去10年間の平均）

■ 平成 25 年度発表予定日

第 7 号： 9 月 19 日（木曜日）

第 8 号： 10 月 17 日（木曜日）

第 9 号： 11 月 14 日（木曜日）

第 10 号： 平成 26 年 2 月 13 日（木曜日）

（参考）これまでの発表

第 1 号： 4 月 18 日（木曜日）

第 2 号： 5 月 16 日（木曜日）

第 3 号： 6 月 13 日（木曜日）

第 4 号： 7 月 11 日（木曜日）

第 5 号： 7 月 25 日（木曜日）

お問い合わせ先

消費・安全局植物防疫課

担当者：防除班 黒谷、後藤

代表：03-3502-8111（内線 4562）

ダイヤルイン：03-3502-5976

FAX：03-3502-3386

当資料のホームページ掲載 URL

<http://www.maff.go.jp/j/press/>